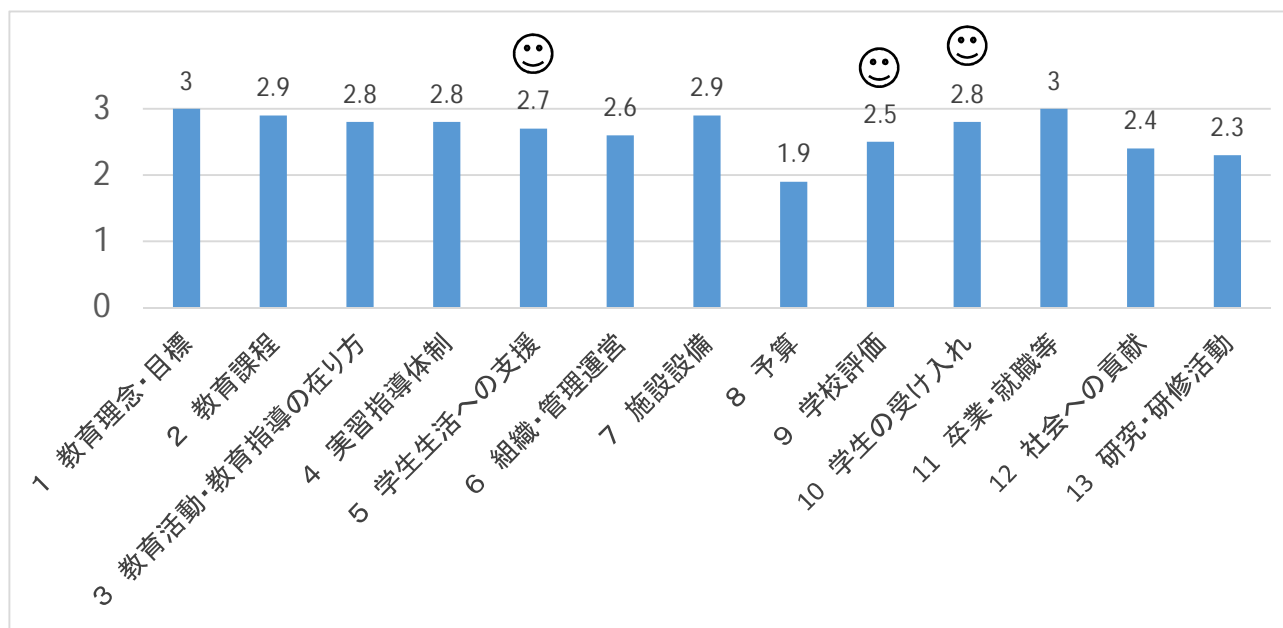


## 1 評価結果

全体の点数は昨年比 13 ポイント上昇、205 項目の平均点は 2.7、90%の達成度でした。

😊 は昨年より評価点が上昇したカテゴリーです。評価が下がった項目はありませんでした。



## 2 評価結果の活用

「3教育活動・教育指導の在り方」については、今年度は“論理的思考を育てるための工夫”や“若者の変遷”などについて学び合い、引き続き主体性を育てるための教育方法の工夫を継続しています。

「5学生生活への支援」については、学年担当制と学生指導・学科・実習の3つのグループとの両側面から支援を強化しています。1・2年生は合同でチームを編成し年間を通して技術習得を目指す縦割りの技術評価、3年生ではケーススタディの指導や国家試験学習にチューター制を導入、それぞれの活動に担当教員を決め、積極的に支援していきます。その結果、国家試験合格率及び就職率ともに100%を達成しました。また、保健師・助産師を目指し大学や専門学校に進学をした学生もいます。

「8予算」については、多くを岡崎市の税収に頼っています。岡崎市の医療の動向と地域のニーズに沿った看護師養成が実現できるよう長期的なビジョンをもち、教育活動をしていきます。

「9学校評価」については、昨年度からホームページで評価結果を公表し、今年度からは外部の委員を招聘し、評価活動がより客観的かつ公平に行われるように努め、引き続き開かれた学校運営を目指します。

「12社会への貢献」については、毎年、実習施設での行事や岡崎市民病院の災害訓練など、多くのイベントに学生・教員がボランティアで参加しています。『おかざき農遊館』での健康相談にも参加し、学校祭をはじめ地域の方々と交流する機会を広げています。

昨年度から取り組んでいる潜在看護師の復職支援は、毎回定員を満たし、岡崎市の看護師充足に向け少しずつ成果を上げています。

医療の動向は刻々と変化しています。また教育においても予測困難な時代を生き抜くためのさまざまな取り組みがなされています。本校は、今回の評価を活かし時代の要請に応えられるよう更に教育内容や学生支援を充実されていきたいと考えています。